

報告事項 (1) 令和4年度事業報告について

令和4年度は、全国旅行支援の実施、外国人受け入れの再開を契機として、ようやく本県にも観光客の賑わいが戻ってきた。

経済活動と感染抑制の両立が進む中、当連盟では、観光地域づくり支援として、筑前玄海エリアでの地域ブランディングの支援、サイクルやトレイルなどアウトドアアクティビティの環境整備、観光産業を支える人材の育成、地域団体への助成に取り組んだ。

国内誘客については、ポストコロナを見据え、県公式観光情報サイト「クロスロードふくおか」の全面リニューアル、修学旅行需要の回復に向けたキャンペーン、広域観光エリアのキャンペーンを行った。

海外誘客については、県観光情報多言語サイト「Visit Fukuoka」(英、中、韓)」及びSNSによる観光情報の発信、リアルプロモーションでは、海外の旅行事業者やメディアの招請、旅行博や商談会への参加などの海外客誘致に取り組んだ。

当連盟のこうした活動が認められ、令和4年10月には、観光庁から県全域を対象とした地域連携DMOとして認定を受けた。

1 観光地域づくり支援

(1) 地域連携の推進

①観光資源の開発

ア 新たな観光地域づくり推進事業（筑前玄海エリア）

新たな観光地域づくり事業で設定した広域観光エリアのうち「筑前玄海エリア」において、県内で最大の水揚げ量を誇る「イカ」にスポットをあて、地域の飲食店の協力のもと新たなイカグルメを開発し、フェアを開催するなど新たな観光素材の開発を行った。

また、地域の新たな観光素材による体験プログラムとイカグルメを含んだモデルルートづくりを行った。

○『イカ王国』筑前玄海イカフェア

開催期間 令和4年11月1日～11月30日

参加店舗 23店舗

イ 地域連携支援事業

地域連携、地域マーケティング、デジタル情報発信等について、専門家の派遣による業務支援を行った。

ウ サイクルツーリズム推進事業

サイクルツーリズム推進協議会や市町村等と連携して受入環境の整備を行うとともに、サイクリングを目的とする国内外の観光客の満足度向上を図るために、デジタルマップ整備、サイクルマップ等の増刷を行った。

また、台湾からのサイクリストの誘客を図るため、県が実施している「台湾からのサイクリスト誘客事業」の取組みの補完として、台湾で発行されている自転車専門雑誌に本県のサイクリング情報を掲載した。

○サイクルツーリズム推進協議会

開催日／会場 令和4年 5月25日 総会／オンライン会議

8月3日、4日 第1回部会／アクロス福岡会議室

10月13日、14日 第2回部会／〃

12月21日 デジタルマップ導入説明会／Zoom

令和5年 2月15日、16日 第3回部会／アクロス福岡会議室

3月23日 報告会／中小企業振興センター

エ トレイルツーリズム促進事業

英彦山を詣でる文化に焦点をあて、修験道プログラム等を取り入れた秋峰コースのルートづくりを行い、旅行商品用のタリフを作成する等旅行商品化に取り組んだ。

オ 九州オルレ支援

九州オルレの福岡県コース（6コース）の維持管理及びブランド価値を守りながら観光客誘致を図るために専門家を招いた研修会を行った。

また、九州オルレ認定地域協議会、幹事会、福岡県オルレコース担当者会議への出席及び現地視察を行った。

○専門家派遣研修会

実施日 令和4年6月6日～7日 筑豊香春コース（香春町）

7月26日～27日 福岡新宮コース（新宮町）

講 師 済州オルレ日本支社 李 唯美 氏

（2）観光基盤の整備

①人材育成

ア 地域の魅力発信人材育成事業（観光コンシェルジュ育成事業）

国内外から本県を訪れる観光客の満足度向上に向け、地域の魅力を効果的に発信できるよう観光案内所等の従事者を対象としたスキルアップセミナーと先進地視察研修を行った。

○育成セミナー

開催日／会場 令和4年 9月15日 博多バスター・ミナル会議室

10月21日 アクロス福岡会議室

11月16日 博多バスター・ミナル会議室

12月21日 アクロス福岡会議室

令和5年 1月18日 アクロス福岡会議室

講 師 株式会社トラベルジップ 代表取締役社長 大泉 敏郎 氏

株式会社ライフブリッジ 代表取締役 櫻井 亮太郎 氏

S N S コンサルタント 堤 順平 氏
株式会社B E Y O N D 代表取締役 道越 万由子 氏
H A P P Y R E L A T I O N 代表 七條 芙美 氏

参 加 者 延べ96人

○オンライン講座

実 施 日 令和5年3月6日、22日（※1年間アーカイブ配信）
講 師 6日 一般社団法人みなみあそ観光局 戦略統括マネージャー
久保 勇之 氏
22日 地域活性化コンサルタント 神谷 孝之 氏

○公開セミナー

開催日／会場 令和4年8月31日 エルガーラホール
講 師 一般社団法人サービス産業革新推進機構 代表理事 内藤 耕 氏
参 加 者 88名（リアル、オンライン、アーカイブ）

○先進地視察

実 施 日 令和5年2月9日～10日
視 察 先 京都市 京都市観光協会、佐々木酒造
大津市 びわ湖大津観光協会
参 加 者 21名

イ 観光ボランティアガイド育成事業

福岡県版「新しい生活様式を取り入れた観光ボランティアガイドマニュアル」を活用し、ガイドのスキルアップ、意識向上等を目的とした県内ボアランティアガイド団体等のリーダー向け実践研修会等を行った。

○実践研修会（開催日／会場／実践ガイド）

令和4年 7月11日 福岡社家町教会／山笠関連（櫛田神社等）
7月28日 飯塚市歴史資料館／旧伊藤伝右衛門邸
9月 7日 門司港レトロ観光物産展／門司港レトロ地区
9月28日 九州芸文館／溝口竈門神社
10月12日 カメリアホール／津屋崎千軒
11月10日 王塚装飾古墳／王塚古墳公園
11月29日 小倉城庭園／小倉城庭園
12月 7日 旧高宮貝島家住宅／旧高宮貝島家住宅

○福岡県観光ボランティアガイド全体研修会

実 施 日 令和5年2月22日
会 場 福岡国際会議場
講 師 琉球歴史文化研究所 クボウグランデ 賀数 仁然 氏
株式会社インアウト・ツーリズム研究所 代表 帆足 千恵 氏
参 加 者 114名

○やさしい日本語研修会

実施日 令和5年2月22日

会場 福岡国際会議場

講師 ふくおかやさしい日本語でつなぐ会 阪本 みゆき 氏

参加者 19名

ウ 観光従事者研修会

地域や観光産業の現場での深刻な人手不足、外国語対応・デジタル対応の遅れといった様々な課題に対応するため、デスティネーションマーケティング、DMO、地域ブランド研究の専門家による講演会を実施した。

実施日 令和5年3月17日

会場 中小企業振興センター

内容 “人を集めの量の観光”から“地域が稼ぐ質の観光”へ
—民間・DMO（観光協会）・行政の役割を考える—

講師 近畿大学経済学部 教授 高橋 一夫 氏

参加者 26名

②地域団体助成

ア 県内4地区観光協議会への助成

福岡、北九州、筑豊、筑後の4地区観光協議会が地域の観光振興を目的として実施するプロモーションを中心とする事業に対して助成を行った。

イ 県観光温泉地協会への助成

県内観光温泉地の振興とプロモーションに取り組む福岡県観光温泉地協会への助成を行った。

ウ 「地域の魅力を磨く観光地域づくりモデル事業」

魅力ある観光資源の創出に取組む地域に対し、県と共同で「地域の魅力を磨く観光地域づくりモデル事業」を実施し、採択事業に対しては現地での助言等による観光資源の磨き上げの支援を行った。

(ア) 継続事業

○直方市 地域一体となった「サイクリングのまち」プロモーション事業

○岡垣町 岡垣フルーツライド事業

(イ) 令和4年度新規採択事業

○福津市 福津市町おこしセンター「津屋崎千軒なごみ」を拠点とした、津屋崎千軒らしさを活かす体験プログラム造成事業

○朝倉市 自然体験型観光コンテンツ「川育」の開発及びプロモーション事業

○広川町 未来へ繋がる広川町「黄金の太原のイチョウ」磨き上げ事業

2 観光誘客促進

(1) 観光情報の発信

①国内向けデジタル情報発信

ア 県公式観光情報サイト「クロスロードふくおか」の管理・運営・強化

本サイトの情報発信機能の強化を図るため全面リニューアルを行った。また、ユーザーの利便性向上のためデザインや機能を一新し、スマートフォンからも快適に利用できるよう整備をした。

全面リニューアルに伴い旅行会社等の法人向けサイトを新たに構築し、旅行商品造成に有益な情報や修学旅行に関する情報提供を開始した。

イ サイクルツーリズム情報発信事業

近年のサイクルツーリズムに対するニーズの高まりを受け、福岡県が運営するSNS（Instagram、Facebook）を用いて、サイクリングの魅力をサイクリスト目線で情報発信した。

○ Instagram

情報発信数：80件 フォロワー数：6,360人（昨年度比+2,928人）

○ Facebook

情報発信数：80件 フォロワー数：1,818人（昨年度比+233人）

ウ トレイルツーリズム情報発信事業

英彦山の歴史やトレイルルート等を紹介したWebサイトを構築し情報発信を行った。

②海外向けデジタル情報発信

ア 県観光情報多言語サイト「Visit Fukuoka」の管理・運営

本サイトの運営に関する保守管理業務に加え、県公式観光情報サイト「クロスロードふくおか」のスポット・イベント情報とのデータ連携を行うため、データのサーバー移行を行った。

イ 中国語繁体字Facebookアカウント運営事業（台湾向け情報発信事業）

新型コロナウィルス感染症の収束後を見据え、訪日旅行の回復が早いと思われる台湾市場をターゲットに台湾向け公式SNSアカウント「愛上福岡縣すいとーよ」を通じ、本県の旬な観光情報を発信するとともに、ユーザーとの双方向のコミュニケーションによる本県の認知度向上と誘客促進に努めた。

情報発信数：237件 フォロワー数：43,529人（昨年度比+10,992人）

ウ 中国交流サイトSNSを活用した誘客促進事業

中国において、訪日旅行の主な旅行情報源とされる「We Chat（微信）」（月間利用

者数約12億人）及び「Weibo（微博）」（月間利用者約8億人）を活用した本県観光情報のターゲット広告と記事発信を行った。

また、訪日旅行に繋がるFIT旅行者（クルーズ旅行者を含まない）層や富裕層のフォロワーを増やすため、こうした層が興味を引く記事の発信を行った。

○ We Chat（微信）

投稿情報数：105本 フォロワー数：16,966人

○ Weibo（微博）

投稿情報数：160本 フォロワー数：5,718人

エ 西九州デジタル旅程販売事業（複数県連携事業：福岡県、佐賀県、長崎県）

中国の旅行会社へ訪日旅行商品の造成に向けた新たなデジタル旅程（動画コンテンツ）を作成し3県連携で中国からの本格的な訪日旅行の再開を見据えたプロモーションを行った。

また、福岡県内観光コンテンツショート動画を作成しTiktok及び中国の旅行クチコミプラットフォームでの動画配信を行った。

福岡、佐賀、長崎県を周遊する4泊5日の旅程動画 1本

福岡県内を周遊する3泊4日の旅程動画 3本

オ 旅行会社ライブ配信プロモーション事業

北京卓越假期国際旅行社のライブ配信機能を活用し、本県の魅力を紹介した動画や観光素材のプレゼンテーションにより、市場のニーズに沿ったコンテンツの紹介を行った。

視聴者数：4,464人

カ 福岡県WEB観光案内所の運営

WEB観光案内所として、英語のFacebook・Instagramアカウントの運用を行った。更に英語圏のユーザーに対しターゲティング広告を行い本県の観光情報の発信を行った。

○ Facebook 投稿情報数：133件 リーチ数 6,929,825

フォロワー数 102,519人

○ Instagram 投稿情報数：133件 リーチ数 2,485,013

フォロワー数 1,994人

○ DM問い合わせ件数 4,276件

キ ピクトグラムを活用した外国人旅行客への情報発信

訪日旅行者を対象に、本県の宿泊、レストラン等の情報を発信しているWebサイト「トラベラーフレンドリー」のデザインを改修し、県観光情報多言語サイト「Visit Fukuoka」とのデザインの統一を図った。また、インバウンド協力店情報を活用し、多言語の情報記事の作成を行った。

③情報誌発行

ア 「クロスロードふくおか」の発行

本県の観光情報（観光スポット、四季の祭・イベント等）を掲載した情報誌「クロスロードふくおか」を季刊号として発行し、マスコミ関係、旅行会社、観光関係機関等への情報提供を行った。

発行部数 60,000部（各季15,000部）

- ・2022年夏号特集 夏もひんやり名水・湧水 ふくおかの水
- ・2022年秋号特集 車窓から感じるふくおかの秋
- ・2022年冬号特集 旅行や帰省の際に買って帰りたい！ふくおかのお土産
- ・2023年春号特集 見て、学んで、体験して！お気に入りの一品を見つけよう
ふくおかの伝統工芸品

イ 「よかもんFUKUOKA」の発行

福岡県観光案内パンフレットとして幅広く活用するため観光スポット、イベントカレンダー、アウトドアスポット、交通案内等を網羅した観光パンフレットを改修し発行した。

発行部数 15,000部

④マスマディア等への情報提供

新聞、ラジオ、雑誌等に対し観光情報の提供・協力を行い、観光客の誘致を図った。

- 西日本新聞「寄り道逸品」
- 南日本ラジオ モーニングスマイル
- 月間九州王国
- C r e a W e b

⑤高速道路のサービスエリアにおける観光案内事業

高速道路を利用して県外から訪れる観光客等のためにサービスエリアに設置している観光案内板の維持管理を行った。

（2）国内誘客

①国内向けプロモーション

ア 修学旅行需要の回復に向けたキャンペーン

本県を行程に組み入れた県内外からの修学旅行実施に対し経費の一部であるバス代助成を実施するとともに、旅行会社及び学校関係者を対象に本県のSDGs素材を組み込んだモニターツアーを実施した。

また、福岡県修学旅行ガイドの内容改定を行うとともにSDGs素材を組み込んだモデルコースの作成を行った。

○バス代助成

バス代助成件数：147件

バス代助成台数：626台

○モニターツアー

実施日 令和4年7月26日～27日

招請者 20名

主な視察先 北九州エコタウンセンター、スペースLABO、門司港レトロ地区

大刀洗平和記念館、山田堰等

イ 九州7県修学旅行説明会・相談会

九州観光機構と連携し、本県の産業、環境、平和学習SDGs素材等の素材について教育旅行を取り扱う旅行会社及び学校関係者へプロモーションを行い、修学旅行の誘致を図った。

また、減少傾向にある修学旅行の需要回復を図る目的で関西圏の教育旅行を取り扱う旅行会社及びJR西日本に対し九州7県合同キャラバンを実施し積極的にプロモーションを行った。

令和4年8月 3日 名古屋会場 学校・旅行会社等参加者 23名

4日 大阪会場 学校・旅行会社等参加者 63名

18日 東京会場 学校・旅行会社等参加者 48名

ウ 九州7県観光素材相談会（上期・下期）

九州観光機構と連携し、本県観光素材・体験プログラム等を取り入れた旅行商品の造成を促進するため、首都圏等の旅行会社とのマッチング形式による相談会を実施しプロモーションを行った。

2023年度上期相談会 令和4年8月19日 東京会場 相談件数14社

22日 Web " 15社

24日 大阪会場 " 10社

26日 福岡会場 " 14社

2023年度下期相談会 令和5年2月28日 東京会場 " 13社

3月 1日 大阪会場 " 14社

2日 福岡会場 " 14社

10日 Web " 7社

エ ツーリズムEXPOジャパン（東京都）

4年ぶりに東京で開催されたツーリズムEXPOジャパンにおいて、設定した6地域の広域観光エリアの大々的な情報発信のため、福岡県ブース内に6地域の特大パネルを設置しBtoB、BtoCの両面から情報発信を行った。

業界日では、事前マッチング形式により13社の旅行会社等と商談を実施。また、事前マッチングによらない旅行会社、メディア等20社以上との商談を行った。

一般日では、特大パネルを使った広域観光エリアの説明やパンフレット等の配布及び6地域の日本酒等の試飲を行った。

開催期間 令和4年9月22日～25日（業界日22・23日、一般日24・25日）

会 場 東京ビッグサイト

来場者数 124,074人（4日間）

オ 首都圏観光プロモーション

旅行商品の造成増加に繋げるため東京で開催されたツーリズムEXPOジャパンの会場で、会員市町村と連携した観光プロモーションを行った。また、観光パンフレットの増刷を行い同会場での配布も行った。

力 誘客促進デジタルプロモーション（国内誘客キャンペーン）

観光需要の早期回復に向け、本県の魅力を紹介したPR動画を活用し九州域内からの誘客拡大、域内回遊の促進を図る目的でSNS広告を活用したプロモーションを行った。

SNS広告 YouTube インプレッション数：1,301,636 imp

視聴完了率： 41.03 %

Instagram/Facebook

インプレッション数：1,571,528 imp

視聴完了率： 58.48 %

キ 福岡県観光物産展での観光キャンペーン

福岡県物産振興会と共同で、観光物産展において本県の観光プロモーションを行い誘客に努めた。また、来場者への観光パンフレット及びノベルティの協賛を行った。

○東武宇都宮百貨店（栃木宇都宮市）

期 間 令和4年10月11日～13日

派 遣 者 連盟職員及び福岡親善大使

○大和香林坊店（石川県金沢市）

期 間 令和5年1月10日～12日

派 遣 者 連盟職員及び福岡親善大使

○大和富山店（富山県富山市）

期 間 令和5年2月20日～22日

派 遣 者 連盟職員及び福岡親善大使

○観光パンフレット・ノベルティ協賛

ながの東急百貨店、東武百貨店船橋店、福屋八丁堀本店、東急百貨店吉祥寺店

ク 広域観光エリアプロモーション事業

新たな観光地域づくり事業で設定した6地域のプロモーションとして以下の事業を行った。

(ア) 体験予約サイトを利用した体験プログラムの販売促進

オンラインでの旅行販売サイト大手である「じゃらん」に特集ページを設け、新たな観光地域づくり事業で設定した6地域の体験プログラムの掲載・販売を行った。

掲載体験プログラム数：134プラン

(内訳)

筑前玄海エリア	31プラン
八女・筑後・広川エリア	22プラン
久留米・うきは・朝倉エリア	53プラン
飯塚・嘉麻・桂川エリア	10プラン
京築エリア	9プラン
日田彦山線沿線エリア	9プラン

(イ) SNS等を活用した情報発信

新たな観光地域づくり事業で設定した6地域のプロモーションとしてSNSを活用した情報及び広告の発信を行った。また、インフルエンサーによる新しい視点での本県の魅力の発信やフォトコンテストを行った。

SNS広告 Twitter インプレッション数：1,451,934 imp

Instagram/Facebook

インプレッション数：1,867,614 imp

SNS情報発信 30回 (Instagram、Facebook、Twitter)

インフルエンサー 5名、10投稿

フォトコンテスト 359投稿

(ウ) 旅行事業者等を対象とした招請事業

新たな観光地域づくり事業で設定した6地域のテーマを軸とした旅行商品造成を促す目的で、首都圏、関西圏等の旅行会社を対象とした招請事業を実施した。また、各地域の観光事業者と旅行商品化に向けた意見交換も行った。

○久留米・うきは・朝倉エリア（ヘルス＆ビューティーのまち）

実施日 令和4年9月9日～10日

招請者 7名（日本旅行、東武トップツアーズ、JTBメディアリテーリング、阪急交通社等）

主な視察先 紅乙女酒造、巨峰ワイン、白壁の町並み、道の駅うきは、原鶴温泉、山田堰、三連水車、秋月散策等

商品造成 2社3ツアー（令和5年4月以降販売予定を含む）
(阪急交通社、JTBメディアリテーリング)

集客実績 195名

○筑前玄海エリア（イカのまち）

実施日 令和4年9月16日～17日

招請者 8名 (JTB、日本旅行、阪急交通社、JTBメディアリテーリング、日本航空等)

主な視察先 宗像大社、道の駅むなかた、津屋崎千軒なごみ、ぶどうの樹、北斗七星、芦屋釜等

商品造成 4社6ツアー（令和5年4月以降販売予定を含む）
(日本旅行、ジャルパック、ベルトラ、エースエー)

集客実績 40名

○八女・筑後・広川エリア（クラフトのまち）

実施日 令和4年9月30日～10月1日

招請者 5名 (JTB、JTBメディアリテーリング、アジア福岡パートナーズ、ユニバーサルトラベルビューロ等)

主な視察先 八女福島白壁の町並み、八女中央大茶園、恋木神社、溝口竈門神社、池田紺工房、西吉田酒造等

商品造成 1社1ツアー（令和5年4月以降販売予定）
(JTB)

○飯塚・嘉麻・桂川エリア（エネルギーの源があるまち）

実施日 令和4年10月7日～8日

招請者 8名 (JTB、日本旅行、西鉄旅行、日本航空等)

主な視察先 旧伊藤伝右衛門邸、ノガミファーム、カホアルペ(e-Bike体験、ヒュッゲ体験等)、The Retreat等

商品造成 2社5ツアー（令和5年4月以降販売予定を含む）
(エースエー、JTB)

集客実績 10名

○日田彦山線沿線エリア（ものづくりと修験道の文化が息づくまち）

実施日 令和4年10月14日～15日

招請者 5名 (JTB、九州産交ツーリズム、アジア福岡パートナーズ等)

主な視察先 英彦山神宮、道の駅ひこさん、HIKOSAN GARDEN CAMP、アクアクレタ小石原、小石原焼伝統産業会館等

商品造成 2社2ツアー（令和5年4月以降販売予定を含む）
(日本航空、JTB)

集客実績 60名

○京築エリア（神楽の里「鬼すごい京築」）

実施日 令和4年10月22日～23日

招請者 7名 (JTB、日本旅行、ジャルパック、第一観光、ベルトラ等)

主な視察先 京築神楽伝統文化会館、うみてらす豊前、旧藏内邸、豊前国分寺三重塔、松木果樹園、長井浜公園クラブハウス等

商品造成 1社1ツアー（令和5年4月以降販売予定）

(2) 海外誘客

①海外向けプロモーション

ア 旅行事業者・メディアの招請事業

(ア) 韓国

○韓国俳優キム・ウィソン氏撮影招請事業

増加する韓国からの観光客に対し、都市部以外へのF I T送客に繋げることを目的に、韓国有名俳優を招請し地域のグルメや酒を切り口としたコンテンツ動画の撮影を行い、韓国国内のS N Sで新しい福岡県を訴求するため福岡県の最新情報を伝える動画の配信を行った。

(イ) 台湾

○台湾訪日教育旅行促進事業

台湾からの教育旅行誘致を目的として、日本政府観光局が主催する国内視察F A Mトリップを活用し、台湾の教育関係者に本県の教育旅行コンテンツ等を紹介するF A Mツアーアを実施した。

国際交流に関心のある学校視察も行い、教育旅行先としての本県の認知度向上に努めた。

実施日 令和5年2月14日～18日

招請者 8名

視察先 太宰府天満宮、九州国立博物館、ららぽーと福岡、南蔵院、大刀洗グリーンツーリズム農家民泊、福岡県立福島高校（八女市）等

(ウ) 東南アジア

○シンガポール旅行会社招請事業（複数県連携事業：福岡県、大分県）

新型コロナウイルス感染症の水際対策が緩和されたことから、今後のインバウンドの急激な回復を見据え、シンガポール市場からの誘客を目的に現地旅行会社の造成担当者と取引先ランド社をセットにした本県及び大分県を周遊するF A Mツアーアを実施した。各国で変化する旅行形態やニーズに合った新しい旅の提案による旅行商品造成を促した。

実施日 令和4年10月23日～27日

招請者 4名

視察先 太宰府天満宮、門司港レトロ地区、柳川川下り、博多人形絵付け体験、久留米柿狩り等

○マレーシア旅行会社招請事業（複数県連携事業：福岡県、佐賀県、長崎県）

本県及び佐賀県、長崎県を周遊する旅行商品の造成を目的として、コロナ禍以前に九州へのツアーア造成実績がある旅行会社の招請を行った。アフターコロナ対策として「安心・安全」を含めた視察先を選定し、受け入れ態勢について現地の担当者から直接説明するなど旅行商品造成の意欲を促した。

また、県内のランド社と旅行商品に関する意見交換を実施した。

実施日 令和4年11月18日～24日

招請者 4名

視察先 柳川川下り、BOSS E-ZO FUKUOKA、久留米柿狩り、如意輪寺、桜井二見ヶ浦、牡蠣小屋等

イ 旅行博、商談会等への参加事業

(ア) 韓国

○日韓交流おまつり2022 in Seoulへの参加

アフターコロナを見据えた韓国からの誘客プロモーションとして、ソウルの大型複合施設であるCOEXで開催された日韓交流イベントにブース出展し本県の観光プロモーションを実施した。

開催日 令和4年9月25日

会場 COEX-Cホール

(イ) 中国

○福岡県×江蘇省友好提携30周年記念 福岡県体感ツアーアイベントへ観光資料発送
会場で配布するパンフレット及びノベルティを送付し本県の観光情報の提供を行った。

開催日 令和5年3月24日

(ウ) 台湾

○ITF（台北国際旅行博）九州共同出展

台湾最大の旅行博であるITFに九州観光機構と連携し九州合同でブースを出展し、アフターコロナを見据えた本県の観光プロモーションを行った。

開催期間 令和4年11月4日～7日

会場 南港展覧館（台北市）

来場者数 195, 366人

○JNTO台湾三大都市旅行博への観光資料送付及びオンラインステージへの参加

JNTOが台湾の三大都市で開催する旅行博覧会の日本ブースへ本県の観光パンフレット等で情報提供を行うとともに、現地とのライブ中継によるステージイベントに参加し観光プロモーションを行った。

開催期間 令和4年 7月22日～25日（高雄旅行博2022）

8月19日～22日（台北国際観光博覧会2022）

(エ) 香港

○香港Book Fair 2022への観光資料等送付

香港最大の旅行博であるブックフェアに出展する福岡県香港事務所に協力するため

ノベルティ等で情報提供を行った。

開催期間 令和4年7月20日～26日

(才) 東南アジア

○ JAPAN R e m i xへの観光資料等送付（タイ）

福岡県バンコク事務所が出演した日本文化を紹介するイベント「Japan R e m i x」にパンフレット及びノベルティで情報発信を行った。

○ NATAS Travel 2022への観光資料等送付（シンガポール）

会場で配布するパンフレット及びノベルティを送付し情報提供を行った。

開催期間 令和4年8月12日～14日

○バンコク日本博出展（タイ）

新規の航空路線の就航等により本県への観光入込客が見込めるタイ市場においてB to B向けの商談会であるバンコク日本博に出展し新たな観光コンテンツの情報発信による認知度向上を図るとともに旅行商品造成の情報提供を行った。

開催期間 令和4年9月2日～4日

会 場 サイアムパラゴン

来 場 者 93,000人

○ FITフェア出展（タイ）

市町村及び福岡県バンコク事務所と連携し本県の観光ブースを出展。タイ市場に向けた観光コンテンツの情報提供及び現地旅行会社とのネットワーキングに参加し、本県の認知度向上及び商品造成に繋がるプロモーションを行った。

開催期間 令和5年1月26日～30日

会 場 サイアムパラゴン

来 場 者 51,610人

○ Japan Travel Fair出展（シンガポール）

シンガポール最大級の日本を紹介する旅行博に市町村と連携しブース出展を行い本県の観光情報等のプロモーションを実施した。また、期間中に現地旅行会社を訪問し本県の認知度向上と商品造成に繋げられるよう情報提供を行った。

開催期間 令和5年2月24日～26日

会 場 SUNTEC CITY

来 場 者 45,000人（速報値）

訪問旅行会社 4社

○ MATTA Fair出展（マレーシア）

11月に複数県連携事業（福岡県、佐賀県、長崎県）で実施したマレーシア旅行会社招請事業のフォローアップ事業として招請に参加したICE Holidays社とタイアップしマレーシア旅行博にブースを出展し、3県を周遊するツアーの販売や認知度向上のプロモーションを行った。

開催期間 令和5年3月16日～21日

会 場 Malaysia International Trade and Exhibition Center (MITEC)
来 場 者 120,000人(速報値)

(力) 欧州・豪州

○北部九州英国プロモーション(複数県連携事業:福岡県、佐賀県、長崎県、大分県)
英国最大の旅行博覧会であるWTMにブース出展しBtoB向けの情報提供及びジャパンセミナーでの観光プロモーションを行った。

開催期間 令和4年11月7日~9日 WTM

11月8日 ジャパンセミナー

会 場 WTM: Excel London

ジャパンセミナー: JAPAN HOUSE LONDON

○北部九州北欧プロモーション(複数県連携事業:福岡県、佐賀県、長崎県、大分県)
北欧最大の旅行博覧会であるMATKAに北部九州でブースを出展し、BtoB向けに新規コンテンツ等のプロモーションを実施した。また、現地旅行会社向けのセミナーを開催し、本県の特徴や魅力を伝え旅行商品造成を促した。

開催期間 令和5年1月19日~22日 MATKA

1月18日 現地旅行会社向けセミナー

会 場 Messukeskus Helsinki: MATKA

オリジナル ソコス ホテル バークナー ヘルシンキ

○豪州における九州7県連携プロモーション

現地に事務所を持つ日系旅行会社に九州の旅行商品5コースを造成してもらい、7県合同でシドニーとメルボルンにて現地旅行会社向けのセミナーを開催し、旅行商品の紹介と販売に繋がるコンテンツの紹介等を行った。

実施日 令和4年10月11日 シドニー

10月13日 メルボルン

会 場 シドニー: Kuro dining

メルボルン: Akaito

参 加 者 シドニー会場 22名

メルボルン会場 19名

ウ 豪州マーケティング会社連携事業

アフターコロナを見据え豪州市場におけるBtoB、BtoCに向けたプロモーション事業を現地旅行専門マーケティング会社と連携し誘客促進に努めた。

(ア) BtoBプロモーションに関する事業

○現地旅行会社とのミーティング(23回)

○現地旅行会社への情報発信(4回)

○現地旅行会社向けに本県概要情報等のトレーニング実施(20社)

○オンライントレーニングサイトの管理

- 大分県との合同現地セミナーの実施（ブリスベン）（1回）
- J N T O主催の商談会等への参加（4回）
- 大分県との合同現地旅行会社ファムトリップ（1回）
 - 視察先：福岡タワー、太宰府天満宮、柳川川下り、宗像大社、八女中央大茶園等
 - 連携会社のみ：T O T O ミュージアム、小倉城、南蔵院等
- メディア向けファムトリップ（2回）
 - 1回目視察先：太宰府天満宮、八女中央大茶園、福岡タワー、屋台等
 - 2回目視察先：大濠公園、櫛田神社、小倉城、門司港レトロ、皿倉山夜景、九州国立博物館等
- 旅行商品造成（2件）

（イ）B t o Cプロモーションに関する事業

- 現地メディア記事掲載（29件）
- 現地メディア向け情報提供（12回）
- 現地メディアとのミーティング（33回）
- 現地旅行会社との合同プロモーション（1回）

エ インバウンド県内周遊促進事業

新型コロナウイルス感染症の水際対策緩和によるインバウンド再開の機会を捉え、コロナ禍以前に政令市（福岡市・北九州市）に集中していた外国人観光客が県内各地域に周遊することを促すため、政令市以外に宿泊・観光するインバウンド向け旅行商品を造成する県内旅行事業者の支援を行った。

参画事業者数：16社

給付決定数：7,000人

3 観光関連事業に対する協力

（1）福岡県の物産と観光展の後援

- ①第3回大福岡展（東武宇都宮百貨店）
- ②福岡うまいもの大会（京王百貨店）
- ③第5回福岡物産展（ながの東急百貨店）
- ④第7回大九州展（大和香林坊店）
- ⑤第8回大九州展（大和富山店）
- ⑥第24回福岡物産展（東武百貨店船橋店）
- ⑦第20回福岡県の物産展（福屋ハ丁堀本店）

（2）その他事業の後援

- ①観光商談会「観光マッチング2023～観光 de 九州～」
- ②第46回福岡県伝統的工芸品展

- ③令和4年度WEB版「福岡検定」
- ④第52回西日本菊花大会
- ⑤ツール・ド・KAMA 2022
- ⑥第40回古賀政男記念「大川音楽祭」
- ⑦第1回全国梅酒まつり in JR博多駅 2023

4 会議

(1) 連盟の総会等

①定時総会

期　　日 令和4年6月24日
報告事項 令和3年度事業報告について
　　　　　　令和4年度事業計画及び収支予算について
議決事項 第1号議案 令和3年度収支決算について
　　　　　　第2号議案 役員の選任について

②理事会

第1回

期　　日 令和4年5月30日
議決事項 第1号議案 令和3年度事業報告及び収支決算について
　　　　　　第2号議案 役員候補者の選任について
　　　　　　第3号議案 令和4年度定時総会の開催について
　　　　　　第4号議案 正会員の承認について

第2回

期　　日 令和4年6月24日
議決事項 第1号議案 常務理事の選定について

第3回

期　　日 令和5年3月29日
議決事項 第1号議案 令和4年度補正予算（案）について
　　　　　　第2号議案 令和5年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
　　　　　　第3号議案 正会員の承認について

③企画委員会

期　　日 令和4年11月16日

(2) 関係団体の会議への出席

日本観光振興協会九州支部総会、九州観光推進機構定時総会、福岡県物産振興会総会等

報告事項（2）令和5年度事業計画及び収支予算について

I 令和5年度の基本方針

令和4年10月の全国旅行支援の実施及び外国人受入れの再開を契機として、内外観光需要が本格的に回復していく中、福岡県では、令和5年度の世界水泳福岡大会、ツール・ド・九州、令和6年度のJR九州デスティネーションキャンペーン(DC)、全国高等学校総合体育大会など、大規模イベントが予定されている。

こうした機会を捉え、福岡県観光連盟では、地域との連携を強化しながら、本県の魅力を全国に発信し、観光需要の回復に取り組むこととしている。

1 観光地域づくり支援

令和6年春の福岡・大分デスティネーションキャンペーン(DC)に向けて、複数市村の連携による広域観光素材の開発を支援する。

また、地域の観光基盤の充実を図るため、観光産業を支える人材育成のための研修会を実施するとともに、県内4地区で取り組む観光プロモーション等に対して助成を行う。

サイクル・トレイルツーリズムの推進においては、地域の特色を活かした観光資源の磨き上げを支援する。

2 観光誘客促進

新型コロナウイルスの影響で疲弊した地域需要の喚起については、全国旅行支援終了後、閑散期の平日における県内宿泊に対する助成を行う。また、本県を旅行行程に組み込んだ修学旅行に対して助成を行う。

情報発信については、観光情報収集の主流となっているスマートフォンなどのツールに合わせ、デザイン性の向上やコンテンツの充実を図り、利用者目線で使いやすいサイトにより効果的な観光情報の発信を行う。

国内外の誘客については、大型イベントを契機とした誘客を促進するため、広域観光エリアでの旅行商品造成による県内周遊の促進及び着地型商品の販売促進に取り組む。

さらに、ツーリズムEXPOや物産展などの場を活用した全国プロモーションを行う。

(3)成果指標

①必須KPI

指標項目		2019 (R1) 年度	2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度
●旅行消費額 (百万円)	目標	934,240	943,180	952,120	510,600	752,000	993,400
	(-)	(-)	(-)	(81,900)	(137,900)	(193,800)	
	実績	993,375	323,873※1	269,191※2	551,915※3		
	(193,735)	(25,952)	(-※2)	(-※3)	()	()	
●延べ宿泊者数 (千人)	目標	17,384	18,038	18,692	12,250	16,130	20,420
	(4,260)	(4,022)	(4,348)	(200)	(2,030)	(4,260)	
	実績	20,420	10,593	9,621	14,194※4		
	(4,262)	(623)	(104)	(602※4)	()	()	
●来訪者満足度 (%)	目標	-	76.0	78.3	80.5	82.8	85.0
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
	実績	73.8	80.4	81.5	87.5※5		
	(-)	(-)	(-)	(-)	()	()	
●リピーター率 (%)	目標	-	60.0	60.0	61.0	62.0	63.0
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
	実績	59.5	67.1	72.6	63.8※5		
	(-)	(-)	(-)	(-)	()	()	

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値、-は、目標値未設定及び実績未収集

※1 新型コロナウイルスの影響により、2020年4-12月期の観光庁「訪日外国人消費動向調査」は中止。

そのため、観光庁では、2020年1-3月期の1人当たり旅行支出を用いて年間値を試算。観光庁試算値を参考に、福岡県についても試算値を算定。

※2 新型コロナウイルスの影響により、2021年1-9月期の観光庁「訪日外国人消費動向調査」は中止。

2021年10-12月期の調査から再開されたものの、福岡県における1人当たり旅行支出額は公表されておらず、試算値を算出できないため国内旅行者の旅行消費額のみ記載。

※3 新型コロナウイルスの影響により、2022年1-9月期の観光庁「訪日外国人消費動向調査」は特定空港のみで調査。2022年10-12月期の調査から再開されたものの、福岡県における1人当たり旅行支出額は公表されておらず、試算値を算出できないため国内旅行者の旅行消費額のみ記載。

※4 速報値(6月末確定)

※5 「福岡県観光入込客調査」に代えて、2022年から「観光客の周遊等の状況に関する調査」によりデータ収集。なお、本表記載の目標値は「福岡県観光入込客調査」をもとに設定したもの。(今後新たな調査方法に則った目標値を改めて設定する予定)

②その他の目標

指標項目		2019 (R1) 年度	2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度
●WEBサイト へのアクセス数 (万セッション)	目標	300	520	520	234	306	377
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	実績	191	146	163	260		
	(-)	(-)	(-)	(45)	()	()	
●住民満足度 (%)	目標	-	-	-	70.0	70.0	70.0
	(-)	(-)	(-)	()	()	()	
	実績	-	64.5	59.1	58.9		
	(-)	(-)	(-)	(-)	()	()	

※ 括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値、-は、目標値未設定及び実績未収集

II 事業概要

1 観光地域づくり支援

(1) 地域連携の推進 【 72百万円】

① 観光資源の開発

・ 市町村連携による観光素材の開発支援事業^新

福岡・大分DCに向け、複数市町村が連携して取り組む広域観光ルートの開発を支援するため、専門家派遣、プロモーション経費を支援することで広域周遊を促す。

・ 新たな観光地域づくり推進事業（筑前玄海エリア）

新たな広域観光エリア創出の取組として、エリアにおける観光テーマ「イカ」による地域ブランディングを支援する。

・ サイクル・トレイルツーリズム推進事業

サイクル・トレイルによる観光客の県内周遊と滞在の促進に向けて、地域の取組や課題解決を支援する。

(2) 観光基盤の整備 【 10百万円】

① 人材育成

・ 地域観光コンシェルジュ育成事業

観光案内所スタッフなど観光業に携わる人材を対象に研修会や先進地視察を行う。

・ 観光ボランティアガイドリーダー育成事業

ガイドの能力のスキルアップや新たなガイド人材開発のための研修等を実施する。

・ 観光事業従事者研修会

広く観光従事者、連盟会員を対象に効果的な情報発信や分析、現地視察等の研修を行う。

② 地域団体助成

・ 県内4地区協議会への助成

4地区の観光協議会で取り組むプロモーションや研修会の経費に対して助成を行う。

・ 観光地域づくりモデル事業

市町村、観光協会、事業者等で構成された協議会が行う観光素材探しや素材磨きに対して助成を行う。

2 観光誘客促進

(1) 観光情報の発信 【 78百万円】

① 国内向けデジタル情報発信

・ クロスロード福岡運営事業

日本語観光案内サイト「クロスロード福岡」では、観光情報収集の主流となっているスマートフォンなどのツールに合わせたデザイン性の向上やコンテンツの充実を図る。旅行者ニーズに合わせたタイムリーな観光情報の発信を行い、観光客の誘致や周遊促進を図る。

② 海外向けデジタル情報発信

・ VISIT FUKUOKA 運営事業

グローバルサイト VISIT FUKUOKA（英、中、韓）では、国別の関心事項を踏まえた観光情報の発信に努め、ブログ記事などの充実及び広報強化に取り組む。また、インバウンド協力店などの情報を掲載し、ユーザーに役立つ内容のサイトを目指す。

・ 台湾向け情報発信事業

継続的に繁体字で観光情報発信するとともに、フェイスブックを活用したユーザーとの双向コミュニケーションにより福岡の認知度向上と誘客促進を図る。

・ 中国向け情報発信事業

中国市場における個人旅行の増加傾向や福岡の認知度が低いという現状を踏まえ、個人旅行者への情報発信の強化のため、中国二大 SNS である「WeChat（微信）」（月間利用者数約 12 億人）及び「Weibo（微博）」（月間利用者数約 8 億人）を活用し、福岡の認知度向上と誘客促進を図る。

③ 情報誌発行

・ 「クロスロードふくおか」発行事業

旅行会社、マスコミ、観光関連機関を配布先としてイベントカレンダー、トピックスを掲載して発行する。（季刊 15, 000 部）

・ 「よかもん FUKUOKA」発行事業

観光情報とモデルコースを掲載した“福岡県観光案内パンフレット”として広く活用してもらうため、人気のある観光情報を掲載する。（15, 000 部）

（2） 国内誘客 【401百万円】

① 国内向けプロモーション

・ 県内宿泊助成事業^新

全国旅行支援後の需要喚起及び休日傾注型の旅行の平準化を図るため、閑散期の平日における県内宿泊施設（政令市除く）の宿泊費・旅行商品に助成を行い、県内各地への周遊促進を図る。

・ 修学旅行の需要回復キャンペーン^拡

県内外の学校が本県を行程に組み込んだ修学旅行を実施する場合のバス費用を助成する。

SDGs・ワンヘルス学習に対応した修学旅行用プログラムのモニターツアーを実施する。

・ 広域観光エリアプロモーション事業

観光素材の磨き上げに取組んできた 6 つの広域観光エリアについて、体験プログラムの予約・購入ができる予約サイトと連携し、これまで造成してきた体験プログラムの販売支援及び SNS 等を活用した情報発信を行う。また、旅行商品の造成に向けて首都圏・関西圏等の旅行会社を対象とした招請事業を実施する。

- ・ **九州観光素材説明会・相談会**

「広域観光エリア」に関する情報など最新観光情報を集めた素材集をもとに、東京・大阪をはじめ送客の多い都市において、旅行会社を対象に九州が一体となってプロモーション、商談会を実施する。

- ・ **ツーリズム EXPO 等出展事業**

10月に大阪で行われる日本最大級の旅行イベントであるツーリズム EXPO に九州合同で参加し、「広域観光エリア」についての特設スペースを設けるなど、広域エリアのプロモーションを積極的に展開する。

また、BtoB 商談会においては、市町村、観光協会と連携しプロモーションを行う。

- ・ **県外プロモーション事業**

県外で開催されるイベント等に出展・参加し県内観光情報のプロモーションに取り組み誘客活動を積極的に行う。

- ・ **観光物産展での観光キャンペーン**

全国で開催される福岡物産観光展での県産品の PR に併せて、県内の観光 PR も行い、福岡ファンの増加を目指す。

(3) 海外誘客 【 24 百万円】

- ① **海外向けプロモーション**

- ・ **旅行事業者・メディア等の招請事業**

中国については、九州北部3県連携で旅行会社向けプロモーションを実施し、商品造成を働きかける。

シンガポールとマレーシアについては、大分県と連携し、旅行会社を招請し、旅行商品の造成を働きかける。

豪州、フィンランドについては、九州北部4県連携で4県を周遊するレンタカーの番組を撮影し、それぞれの国で放送。放送後周遊したコースを基に旅行商品造成を働きかける。

- ・ **旅行博、商談会等への参加事業**

【東アジア向けプロモーション（韓国、中国、台湾、香港）】

韓国：日韓交流おまつり in ソウルに出展し、福岡県の観光地を旅行会社及び BtoC 向けに PR する。

中国：上海の旅行博 TPS 又は深圳の旅行博 SITE に出展し、福岡県の観光地を旅行会社及び BtoC 向けに PR する。

台湾：2023 高雄市旅行公会国際旅展（KTF）に出展し、福岡県の観光地を旅行会社及び BtoC 向けに PR する。

香港：香港国際旅行展示会（ITE2023）に出展し、福岡県の観光地を旅行会社及び BtoC 向けに PR する。

【東南アジア向けプロモーション（シンガポール、タイ、ベトナム）】

シンガポール：NATAS Travel Fair に出展し、福岡県の観光地を旅行会社及びBtoC 向けに PR する。

タイ：FIT フェアに出展し、福岡県の観光地を BtoC 向けに PR する。

ベトナム：大分県と連携し、BtoC 旅行博及び訪日旅行セミナー商談会へ出展し福岡県の認知度向上と旅行会社で予約促進を働きかける。

【欧米向けプロモーション（米、英、仏、北欧）】

米国：Virtuoso Travel Week 2023 に出展し、富裕層向けを対象とした旅行会社向けに旅行商品を PR する。

英国：The Luxury Travel Show 2023 に出展し、富裕層向けを対象とした旅行会社向けに旅行商品を PR する。また複数県連携で WTM に出展し、BtoB 向けに旅行商品造成促進を図る。

仏国：ILTM Cannes に出展し、富裕層向けを対象とした旅行会社向けに旅行商品を PR する。

北欧：Matka Nordic Travel Fair 2023 に出展し、福岡県内の観光地を旅行会社及び BtoC 向けに PR する。

・ 豪州レップ事業

オーストラリア国内の旅行関連業者向けに、セールス、情報提供、教育、FAM トリップ、現地商談会参加、eDM 送付などを実施する。メディア向けに、セールス、情報提供を行い、福岡県の認知度向上と旅行商品造成を促す。

収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 受取会員費	13,640,000	13,100,000	540,000	
正 会 員 費	13,640,000	13,100,000	540,000	
② 事業収益	200,000	200,000	0	
広 告 収 入	150,000	150,000	0	
受 取 事 業 助 成 金	50,000	50,000	0	
③ 受取補助金	678,038,000	343,520,000	334,518,000	
受取福岡県補助金	678,038,000	343,520,000	334,518,000	
④ 受託金収益	0	1,523,000	△ 1,523,000	
観光プロモーション推進事業	0	1,523,000	△ 1,523,000	
⑤ 雑 収 入	10,000	10,000	0	
受取預金利息	10,000	10,000	0	
経常収益計	691,888,000	358,353,000	333,535,000	
(2) 経常費用				
① 事業費	688,098,000	354,709,000	333,389,000	
役員報酬	13,263,000	13,558,000	△ 295,000	
給与手当	67,958,000	64,668,000	3,290,000	
退職給付費用	189,000	189,000	0	
福利厚生費	8,719,000	8,742,000	△ 23,000	
旅費交通費	10,815,000	9,910,000	905,000	
通信運搬費	3,549,000	3,240,000	309,000	
事務機器一資費	2,500,000	2,500,000	0	
消耗品費	2,418,000	2,367,000	51,000	
印刷製本費	8,867,000	8,288,000	579,000	
貯蔵保管料	5,867,000	5,382,000	485,000	
諸委託費	200,000	250,000	△ 50,000	
謝金	4,674,000	5,958,000	△ 1,284,000	
税公課	554,451,000	225,140,000	329,311,000	
租支払負担金	400,000	200,000	200,000	
支払助成金	2,365,000	2,365,000	0	
雜費	1,600,000	1,600,000	0	
役員報酬	263,000	352,000	△ 89,000	
給与手当	3,790,000	3,644,000	146,000	
退職給付費用	1,152,000	1,178,000	△ 26,000	
福利厚生費	553,000	518,000	35,000	
会議費	21,000	21,000	0	
旅費交通費	181,000	177,000	4,000	
通信運搬費	1,200,000	1,100,000	100,000	
事務機器一資費	213,000	213,000	0	
消耗品費	71,000	68,000	3,000	
印刷製本費	50,000	72,000	△ 22,000	
貯蔵保管料	46,000	39,000	7,000	
印刷製本費	177,000	156,000	21,000	
租税公課	117,000	89,000	28,000	
雜費	4,000	5,000	△ 1,000	
税公課	5,000	8,000	△ 3,000	
経常費用計	691,888,000	358,353,000	333,535,000	
当期経常増減額	0	0	0	
2 経常外増減の部				
1) 経常外収益				
経常外収益計				
2) 経常外費用				
経常外費用計				
当期経常外増減額				
当期一般正味財産増減額				
一般正味財産期首残高	4,500,000	4,500,000		
一般正味財産期末残高	4,500,000	4,500,000		4年度決算見込
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額				
III 正味財産期末残高	4,500,000	4,500,000		

収支予算書内訳表
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費	6,820,000	6,820,000	13,640,000
正会員費	6,820,000	6,820,000	13,640,000
② 事業収益	200,000		200,000
広告収入	150,000		150,000
受取事業助成金	50,000		50,000
③ 受取補助金	678,038,000		678,038,000
受取福岡県補助金	678,038,000		678,038,000
④ 雑収入	10,000		10,000
受取預金利息	10,000		10,000
経常収益計	685,068,000	6,820,000	691,888,000
(2) 経常費用			
① 事業費	688,098,000		688,098,000
役員報酬	13,263,000		13,263,000
給与手当	67,958,000		67,958,000
退職給付費用	189,000		189,000
福利厚生費	8,719,000		8,719,000
旅費交通費	10,815,000		10,815,000
通信運搬費	3,549,000		3,549,000
事務機器一資費	2,500,000		2,500,000
消耗品費	2,418,000		2,418,000
印刷製本費	8,867,000		8,867,000
賃借料	5,867,000		5,867,000
保険料	200,000		200,000
諸謝金	4,674,000		4,674,000
委託費	554,451,000		554,451,000
租税公課	400,000		400,000
支払負担金	2,365,000		2,365,000
支払助成金	1,600,000		1,600,000
雑費	263,000		263,000
② 管理費		3,790,000	3,790,000
役員報酬		1,152,000	1,152,000
給与手当		553,000	553,000
退職給付費用		21,000	21,000
福利厚生費		181,000	181,000
会議費		1,200,000	1,200,000
旅費交通費		213,000	213,000
通信運搬費		71,000	71,000
事務機器一資費		50,000	50,000
消耗品費		46,000	46,000
印刷製本費		177,000	177,000
賃借料		117,000	117,000
租税公課		4,000	4,000
雑費		5,000	5,000
経常費用計	688,098,000	3,790,000	691,888,000
当期経常増減額	-3,030,000	3,030,000	0
2 経常外増減の部			
1) 経常外収益			0
経常外収益計			0
2) 経常外費用			0
経常外費用計			0
当期経常外増減額			0
当期一般正味財産増減額			0
一般正味財産期首残高			4,500,000
一般正味財産期末残高			4,500,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			0
III 正味財産期末残高			4,500,000

第1号議案
令和4年度収支決算について
定款第36条の規定により承認を求める。

貸借対照表
令和5年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	19,960,056	18,334,856	1,625,200
現金	79,911	4,296	75,615
普通預金福岡銀行博多駅前支店	14,806,184	12,566,005	2,240,179
普通預金筑邦銀行福岡支店	1,747,973	1,513,288	234,685
普通預金西日本シティ銀行本店	3,325,988	4,251,267	△ 925,279
未収金	4,600,000	3,800,000	800,000
流動資産合計	24,560,056	22,134,856	2,425,200
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	8,068,546	7,858,452	210,094
特定資産合計	8,068,546	7,858,452	210,094
固定資産合計	8,068,546	7,858,452	210,094
資産合計	32,628,602	29,993,308	2,635,294
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	5,508,282	3,643,710	1,864,572
預り金	1,197,094	782,234	414,860
流動負債合計	6,705,376	4,425,944	2,279,432
2. 固定負債			
退職給付引当金	8,068,546	7,858,452	210,094
固定負債合計	8,068,546	7,858,452	210,094
負債合計	14,773,922	12,284,396	2,489,526
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	17,854,680	17,708,912	145,768
(うち特定資産への充当額)	(0) (0)	(0) (0)	(0) (0)
正味財産合計	17,854,680	17,708,912	145,768
負債及び正味財産合計	32,628,602	29,993,308	2,635,294

正味財産増減計算書
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	124	124	0
特定資産受取利息	124	124	0
受取会費	13,120,000	13,255,000	△ 135,000
受取会費	13,120,000	13,255,000	△ 135,000
事業収益	306,813	350,000	△ 43,187
事業収益	6,813	0	6,813
広告収益	300,000	300,000	0
受取事業助成金	0	50,000	△ 50,000
受取補助金	343,493,000	141,594,000	201,899,000
受取福岡県補助金	343,493,000	141,594,000	201,899,000
受取負担金	16,660,510	3,750,000	12,910,510
受取負担金	16,660,510	3,750,000	12,910,510
受託金収入	1,523,000	25,464,538	△ 23,941,538
観光プロモーション推進事業費受託金	1,523,000	4,276,800	△ 2,753,800
豪州旅行専門マーケティング会社連携プロモーション	0	11,687,738	△ 11,687,738
域内連携促進事業	0	9,500,000	△ 9,500,000
雑収益	1,432,861	350	1,432,511
受取預金利息	601	350	251
雑収益	1,432,260	0	1,432,260
経常収益計	376,536,308	184,414,012	192,122,296
(2) 経常費用			
事業費	372,625,703	179,329,855	193,295,848
役員報酬	13,260,292	12,202,416	1,057,876
給料手当	69,123,636	46,825,732	22,297,904
退職給付費用	189,085	248,926	△ 59,841
福利厚生費	8,461,179	7,776,722	684,457
旅費交通費	11,880,765	2,590,233	9,290,532
通信運搬費	3,054,739	2,427,628	627,111
消耗什器備品費	2,678,894	2,849,513	△ 170,619
消耗品費	3,390,180	3,662,274	△ 272,094
印刷製本費	9,821,060	8,968,218	852,842
賃借料	3,603,827	3,223,302	380,525
保険料	123,470	189,430	△ 65,960
諸謝金	4,260,562	4,535,147	△ 274,585
租税公課	150,368	56,807	93,561
支払負担金	2,340,000	12,340,000	△ 10,000,000
支払助成金	1,400,000	1,500,000	△ 100,000
委託費	238,579,033	69,700,120	168,878,913
支払手数料	181,666		181,666
雑費	126,947	233,387	△ 106,440
管理費	3,812,273	3,371,108	441,165
役員報酬	1,153,068	1,355,824	△ 202,756
給料手当	588,823	568,734	20,089
退職給付費用	21,009	27,658	△ 6,649
福利厚生費	167,621	191,230	△ 23,609
会議費	1,147,534	652,490	495,044
旅費交通費	242,110	63,694	178,416
通信運搬費	60,534	55,268	5,266
消耗什器備品費	54,671	69,448	△ 14,777
消耗品費	69,121	89,979	△ 20,858
印刷製本費	190,940	220,072	△ 29,132
賃借料	73,548	69,625	3,923
租税公課	37,592	1,348	36,244
支払手数料	3,315		
雑費	2,387	5,738	△ 3,351
経常費用計	376,437,976	182,700,963	193,737,013
当期経常増減額	98,332	1,713,049	△ 1,614,717
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	47,436	0	47,436
過年度損益修正益	47,436	0	47,436
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	47,436	0	47,436
当期一般正味財産増減額	145,768	1,713,049	△ 1,567,281
一般正味財産期首残高	17,708,912	15,995,863	1,713,049
一般正味財産期末残高	17,854,680	17,708,912	145,768
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			0
指定正味財産期首残高			0
指定正味財産期末残高			0
III 正味財産期末残高	17,854,680	17,708,912	145,768

正味財産増減計算書内訳表
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	124		124
特定資産受取利息	124		124
受取会費	6,560,000	6,560,000	13,120,000
受取会費	6,560,000	6,560,000	13,120,000
事業収益	306,813		306,813
事業収益	6,813		6,813
広告収益	300,000		300,000
受取補助金	343,493,000		343,493,000
受取福岡県補助金	343,493,000		343,493,000
受取負担金	16,660,510		16,660,510
受取負担金	16,660,510		16,660,510
受託金収入	1,523,000		1,523,000
観光プロモーション推進事業費受託金	1,523,000		1,523,000
雑収益	1,432,861		1,432,861
受取預金利息	601		601
雑収入	1,432,260		1,432,260
経常収益計	369,976,308	6,560,000	376,536,308
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	372,625,703		372,625,703
給料手当	13,260,292		13,260,292
退職給付費用	69,123,636		69,123,636
福利厚生費	189,085		189,085
旅費交通費	8,461,179		8,461,179
通信運搬費	11,880,765		11,880,765
消耗什器備品費	3,054,739		3,054,739
消耗品費	2,678,894		2,678,894
印刷製本費	3,390,180		3,390,180
賃借料	9,821,060		9,821,060
保険料	3,603,827		3,603,827
諸謝金	123,470		123,470
租税公課	4,260,562		4,260,562
支払負担金	150,368		150,368
支払助成金	2,340,000		2,340,000
委託費	1,400,000		1,400,000
支払手数料	238,579,033		238,579,033
雑費	181,666		181,666
管理費	126,947		126,947
役員報酬	3,812,273		3,812,273
給料手当	1,153,068		1,153,068
退職給付費用	588,823		588,823
福利厚生費	21,009		21,009
会議費	167,621		167,621
旅費交通費	1,147,534		1,147,534
通信運搬費	242,110		242,110
消耗什器備品費	60,534		60,534
消耗品費	54,671		54,671
印刷製本費	69,121		69,121
賃借料	190,940		190,940
租税公課	73,548		73,548
支払手数料	37,592		37,592
雑費	3,315		3,315
経常費用計	2,387		2,387
経常費用計	372,625,703	3,812,273	376,437,976
当期経常増減額	△ 2,649,395	2,747,727	98,332
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	47,436	0	47,436
過年度損益修正益	47,436	0	47,436
(2) 経常外費用			
当期経常外増減額	47,436	0	47,436
当期一般正味財産増減額	△ 2,601,959	2,747,727	145,768
一般正味財産期首残高	△ 6,144,224	23,853,136	17,708,912
一般正味財産期末残高	△ 8,746,183	26,600,863	17,854,680
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 8,746,183	26,600,863	17,854,680

財産目録
令和5年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	手元保管	運転資金として	79,911
	預金	普通預金福岡銀行 博多駅前支店	運転資金として	14,806,184
		普通預金筑邦銀行 福岡支店	運転資金として	1,747,973
		普通預金西日本シ ティ銀行本店	運転資金として	3,325,988
	未収金			4,600,000
流動資産合計				24,560,056
(固定資産)				
特定資産				
	退職給付引当資産		職員に対する退職金の支 払いに備えたもの	8,068,546
固定資産合計				8,068,546
資産合計				32,628,602
(流動負債)				
	未払金		公益目的及び管理目的 の業務に使用する費用	5,508,282
	預り金		保険料等の預かり分	1,197,094
流動負債合計				6,705,376
(固定負債)				
	退職給付引当金		職員に対する退職金の支 払いに備えたもの	8,068,546
固定負債合計				8,068,546
負債合計				14,773,922
正味財産				17,854,680

財務諸表に対する注記 (公社) 福岡県観光連盟

令和5年3月31日現在

法人全体

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

①固定資産の減価償却方法は、定率法で行っている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
小計	0	0	0	0
特定資産				
退職給付引当資	7,858,452	210,094	0	8,068,546
小計	7,858,452	210,094	0	8,068,546
合計	7,858,452	210,094	0	8,068,546

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
小計	0	0	0	—
特定資産				
退職給付引当資産	8,068,546	0	0	8,068,546
小計	8,068,546	0	0	8,068,546
合計	8,068,546	0	0	8,068,546

4 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金 受取福岡県補助金	福岡県	—	343,493,000	—	343,493,000	一般正味財産
負担金 受取負担金	福岡県観光推進協議会等	—	16,660,510	—	16,660,510	一般正味財産
合計		0	360,153,510	0	360,153,510	

5 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、未払金、未払消費税、預り金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記6に記載するとおりである。

6 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	18,334,856	19,960,056
未収金	3,800,000	4,600,000
合計	22,134,856	24,560,056
未払金	3,643,710	5,508,282
未払消費税	0	0
預り金	782,234	1,197,094
合計	4,425,944	6,705,376
次期繰越収支差額	17,708,912	17,854,680

7 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	7,858,452	210,094	—	—	8,068,546